

第4回 庄原市長期総合計画審議会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成18年10月17日（火）  
開会 14時00分  
閉会 16時20分
2. 開催場所 庄原市役所 本館 2階会議室
3. 出席委員 藤岡 辰彦 委員 ・ 長曾チクサ 委員 ・ 谷本 淳一 委員  
湯川 圭司 委員 ・ 桑原 昇導 委員 ・ 上田 正之 委員  
田中 光枝 委員 ・ 白川 牧子 委員 ・ 門田 三雄 委員  
野原 建一 委員 ・ 小田 恵子 委員 ・ 片山 孝昭 委員  
石川 芳秀 委員 ・ 名越 勝美 委員 ・ 川崎 綱人 委員  
松島 義治 委員 ・ 原田 吉祥 委員 ・ 吉野 留弘 委員  
草谷 量政 委員 ・ 田宮 淳義 委員
4. 欠席委員 日野原 貢 委員 ・ 長岡 廣樹 委員 ・ 塩本 誠二 委員  
加藤 博和 委員 ・ 坂村 廣嗣 委員
5. 出席職員 庄原市助役 入江 幸弘  
地域振興部長 國光 拓自  
地域振興部企画課長 中本 淳  
地域振興部企画課企画調整係長 兼森 博夫  
地域振興部企画課企画調整係 池田 貴徳
6. 傍聴者数 1名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 第4回庄原市長期総合計画審議会次第

平成18年10月17日（火）14:00～

庄原市役所 本館 2階会議室

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議 事

#### (1)基本構想(案)について

基本構想（案） .....資料1

基本構想（案）変更表 .....資料2

#### (2)基本計画について

基本計画（素案） .....資料3

重点戦略プロジェクト .....資料4

基本計画 体系図 .....資料5

### 4. その他

### 5. 閉 会

## 会 議 経 過

### 1．開会

### 2．会長あいさつ

審議会の開催も本日で第4回となり、長期総合計画は、委員の皆さんの意見や提案により修正・加筆を重ね、完成度が高まっている。

策定作業もいよいよ終盤に近づいており、本日の会議も皆さんの忌憚のない議論により、すばらしい長期総合計画が策定できるようご協力をお願いしたい。

### 3．議事

#### (1) 基本構想(案)について

資料1、2により事務局が説明

会 長：基本構想もワーキング会議等で議論され、内容が良く整理されてきた。事務局から変更表を基に基本構想の説明があったが、皆さんのご意見・ご提案をお願いしたい。

意見・提案なし

会 長：ご意見がないようなので、基本構想については、承諾していただいたこととする。  
なお、基本計画の議論の中で、基本構想について意見が生じた場合は、その時に意見をお願いしたい。

#### (2) 基本計画について

資料3・4・5により事務局が説明

「第1章 協働の力で 笑顔が輝くまち/自治・協働」について

委 員：P10「職員の意欲・意識の喚起」は表現が不適切ではないのか。「意識の変革、意識の改革」などの方が適切だと思う。

事務局：適切で、わかりやすい表現に変更する。

委 員：本文中の「章タイトル」文字が小さく、わかりにくい。

事務局：ご意見を参考に、わかりやすい大きさに変更する。

委員：P11「市税の収納率」目標値が98%以上となっているが、始めから2%の滞納を認めていることになるのではないかと。100%とした方が良いのではないかと。

事務局：「行政経営改革大綱」実施計画で整理している指標でもある。もちろん100%を目標として事務事業を推進するが、最低ラインが98%であると理解していただきたい。

委員：P11目標指標「総職員数（西城市民病院の技術職を除く。）」とあるが、西城市民病院の技術職員数も示した方が良いのではないかと。

事務局：現在、職員数の削減は一般職を対象としているため、このような表現としている。西城市民病院の現在の技術職員数を追加記入する。

委員：総職員数の目標達成のためには、年間7名程度の削減が必要となるが、その削減方法は定めているのか。

事務局：基本的に退職者3人に対して、1人採用する方法を考えている。採用者を0人になると職員の年齢バランスが崩れることが予想される。

委員：「経常収支比率」「財政力指数」は、一般市民が聞きなれない言葉であり、わかりやすい説明が必要ではないかと。また、目標値の設定の根拠が不明確である。

事務局：専門的な財政指標であり注釈を付記したい。一般的に「経常収支比率」は、80%以下が望ましいとされていることから、それを見据えた目標設定を行っている。また、財政推計よりも、厳しい数値を目標値として設定している。

会長：簡潔または専門的な言葉により、一般市民から見て、わかりにくい表現があれば、合わせて意見をいただきたい。

## 「第2章 さとやま資源の活用で 地域が輝くまち / 産業・交流」について

委員：P12「1 農林水産業の振興」の中で、「重点戦略プロジェクト」の記述がされていないが、何か考えがあるのか。

事務局：「重点戦略プロジェクト」については、別にP70第6章で整理している。また、P71「農業自立振興プロジェクト」は、すでに個別計画を策定しており、

さらに詳しい内容を、その中で整理している。

委員：P 15 目標指標「農業産出額」「林業産出額」「畜産産出額」が 10%増となると、「農家 1 戸当たりの生産農業所得額」が 10%増になるのか。

事務局：特に、項目ごと関連性を持たせておらず、個別の指標として整理している。

会長：P 17 目標指標「商品販売額」「製造品出荷額」は、10%増という現実的な目標値の設定だと思う。また、P 19 目標指標「入込み観光客数」は、大幅な増加を予想している。これらの目標指標についても、ご意見をお願いしたい。

委員：P 17 目標指標「市営工業団地の分譲率」の目標値を 100%としているが、新たな企業誘致のために、分譲価格の値下げなどの具体策はあるのか。

事務局：ベンチャー企業の誘致、木質バイオマス活用の産業の起業など、様々な案を考えているが、分譲価格の値下げについては、現在のところ検討していない。

委員：「市営工業団地の分譲率」の目標値を 100%に設定していることを踏まえると、P 11 第 1 章「市税の収納率」も 100%にすべきでないか。職員の意識改革の視点から考えても 100%にすべきである。

事務局：「市営工業団地の分譲率」の目標値は、県営庄原工業団地や東城工業団地が完売した実績を考慮し設定している。

目標指標は、現実的な数値を設定すべきであると考えており、「市税の収納率」については、当然、国民の義務という意味から考えると 100%が望ましいが、市民の理解・意識が必要であり、現在、収納率が 100%という実績はない。

98%以上という目標値もかなり厳しい数値であることを、ご理解いただきたい。

会長：市営工業団地は、完売する可能性があり、引き続き営業に努めていただきたい。

「市税の収納率」は、市民所得や実情に基づいており、徴収が困難な場合も生じている。それらを考慮し、最低ラインの 98%という目標値を設定しているが、100%の収納が望ましいため、市民理解に努められたい。

委員：目標指標の「農業産出額」10%増はなかなか容易な数値ではない。積極的な施策推進を要望する。

委員：P 17「商工業の従事者数」と P 34「高校卒業就職者の市内就職率」の目標値は、整

合しているのか。

事務局：P 34「高校卒業者の市内就職率」は、就職を希望する高校生が、そのまま市内企業に就職するという定住の目標指標であり、P 17「商工業の従事者数」と直接的な関連はないと考えており、整合はしていない。

委員：地域に働く場があって、賑わいを創出することが基本になると思う。Uターン等も含めて庄原市の人口を増やすことを考慮すると、整合させるべきでないか。

事務局：P 17 目標指標では、商工業の活性化という視点で目標指標を設定しており、新規学卒者の定住促進とは、目的が異なるため整合していない。

### 「第3章 自然との共生で暮らしが輝くまち／環境・基盤・定住」について

委員：P 27 一般県道 34 路線の整備計画はあるのか。

事務局：県道は、広島県道路整備計画に基づき整備を行っているが、その計画を現在用意していないため、後日、連絡する。

委員：P 34「協働の取り組み」では、「空家や定住情報の提供」と整理しているが、4～5年経った空家は、痛みがひどくなり居住できなくなることから、担当者による積極的な情報収集・物件の掘り起こしが必要ではないか。

また、公共施設の有効利用という視点から、学校適正配置などにより発生した空教員住宅を、一般住宅として活用できるよう国や県と協議していただきたい。

事務局：教員住宅の活用等を含め、調査・検討を行いたい。

委員：現在、市営住宅の募集は年3回程度であり、空屋・空室が発生してから、長い期間が経つことがある。民間住宅のように空期間を置かず、すぐに募集をすべきではないか。

事務局：そうした利用ができるか、検討したい。

委員：P 24「リサイクル率(東城地域)」が高いのは、R D F 施設が東城地域にあるだけでなく、地域住民が分別などで努力している点もある。

ゴミ分別の細分化などにより、「リサイクル率(東城地域以外)」の目標値を少しでも

高く設定することができないのか。

事務局：地域によりゴミ処理の形式に違いがあるので、その手法を変えない限り、同様な目標設定は困難と考える。

委員：ゴミ処理の形式の違いは理解できるが、ゴミ分別の細分化など、小さいことから、市民に徹底をする必要があるのではないかと疑問を感じる。

事務局：もちろん、「リサイクル率(東城地域以外)」の向上のために、積極的な取り組みを進める。

委員：現在、他地域に比べ東城地域のゴミ袋価格が安いと聞いている。ゴミ分別の細分化により、人件費等が削減できるのではないかと。東城地域のように小さなことから実施すべきではないかと。

事務局：東城地域以外の地域も、平成 17 年からゴミ分別を細分化し、現在、時間をかけて理解と協力をお願いしているところである。

また、受益者負担という考えに基づき、ゴミ袋の代金は、ゴミ処理費用の 15% を上限に設定しているが、ゴミを R D F 処理する東城地域を同様の率で算出した場合、ゴミ袋代金が他地域に比べ高額になりすぎるため、同じ額になるよう調整している状況である。

ご理解をお願いしたい。

委員：県が整備を進める広域的な農道は、整備後、市道と同等の路線となると思うが、「1 道路網を整備します」の中で整理しないのか。

事務局：県が整備を進める広域的な農道は、主要幹線として位置づけることができるが、性格的に農業振興として捉えており、P 12・第 2 章「1 農林水産業の振興・生産基盤の整備」の中で整理している。この県事業は、市が負担金を支出し、県主体で整備を進める事業である。

委員：P 34「老年人口」の目標値は、現状よりも減っているが、団塊の世代などの人口を考えると増やした方がよいのではないかと。

事務局：基本構想の P 49・50 目標人口を基本としており、生産年齢人口の増加を主な視点においている。これまで増加傾向で推移していた老年人口も、減少に転じることが推計されている。

「第4章 心と体の健康づくりで 命が輝くまち / 保健・福祉・医療」について

委員：P41目標指標「希望保育所への入所率」は、平成27年度に100%の目標としているが、もっと早い時期に目標を達成する必要があるのではないか。

事務局：ご意見のとおり、常に100%を達成する必要があると感じているが、現状として施設定員等が限られており、需要の多い年には対応できない状況となっている。

今後、市民ニーズに対応できるよう指定管理者制度の導入も含め、サービス向上策を検討したい。

委員：難しい問題だとは思うが、若い世代が住みやすい環境づくりに努めてほしい。

委員：健康づくりを推進するためには、市民生活に最も身近な社会福祉協議会の役割が重要になっている。そのため、P52「1 関係機関・団体との連携に努めます」の中に、社会福祉協議会について、追加記述した方が良いのではないかと。

事務局：社会福祉協議会の追加記述を行う。

委員：後期高齢者の医療制度が平成20年度から施行される予定であるが、このことについて記述されていないのは法施行の段階ではないからか。

また、P55「西城市民病院の健全経営」の中の慢性期医療とは、介護認定要支援、の医療に重点をおくことを意味するのか。

事務局：西城市民病院は、介護福祉施設ではなく医療施設である。ここでいう慢性期医療とは、生命の危険は少ないものの持続した不健康な状態に対応する医療であり、本文中に注釈を付記する。

また、医療制度の改正が行われた場合は、それに即した対応に努める。

委員：P54「高度医療への対応強化」の中の総合病院とは、どの病院のことか。また、対応強化とは市が財政的な支援をすることなのか。

事務局：ここでいう総合病院とは庄原赤十字病院を想定している。県の補助制度に基づく支援は行っているが、市の新たな財政支援については考えていない。

また、西城市民病院のあり方については、現在、調査・検討を進めているところである。

委員：P 42「高齢者の自立支援」P 45「障害者の自立支援」の中で、介護サービスを受ける人については方針を示してあるが、家族など介護者への配慮も必要なのではないか。協働の取り組みの中で整理してほしい。

会長：今の提案について、事務局で検討をお願いしたい。

#### 「第5章 ふるさとを愛する心で 人が輝くまち / 教育・文化」

委員：P 67「4 スポーツの振興」の中で、「スポーツ施設の整備に対する満足度」について、「市民の満足度アンケート」と「目標指標」で記述してあるが、現状値に違いがあるどちらが正しいのか。

事務局：「市民の満足度アンケート」の現状値 24.3%が正しい。訂正をお願いしたい。

委員：少子化の影響で生徒が減少し、学校によってはスポーツのクラブ活動でチーム編成が困難となっている。何か支援策はないのか。

委員：小学校体育連盟や中学校体育連盟では、隣接校でのチーム編成を認めている。一般市民では、中学校区の地域を対象とし、総合型地域スポーツクラブでの取り組みを進めている。比較的、高齢者の参加率は高いが、子どもの参加が少ない現状がある。

委員：P 56「現状と課題」で「知・徳・体」と記述してあるが、「体」となる子どもの健康づくり・体力づくりの視点から、スポーツクラブ活動への取り組みなどを整理する必要があるのではないか。

会長：今の提案について、事務局で検討をお願いしたい。

また、P 67 目標指標「スポーツ施設の整備に対する満足度」という項目があるが、今後、施設整備をする計画があるのか。

事務局：現在、上野総合公園・陸上競技場の施設整備を進めている。

#### 「第6章 重点戦略プロジェクト」について

委員：資料4・P 8「失ったものを取り戻すことで 地域の経済が発展する仕組みをつく

る」という理念を掲げているが、農林業に携わった人の言葉ではない感じがする。

現在の農林業は、全てを失っているのではなく、大規模に農業を営んでいる方もいる。そのため、「失ったもの」と表現することは不適切ではあり、この言葉を使うのであれば「失いかけたもの」「忘れかけられたもの」と表現するほうが適切ではないか。

事務局：確かに、農林業は全てを失ったわけではないが、10あったものが失われ、2や3になっているという考え方であり、その失ったものを取り戻すことで、域内経済循環を作り出し、市民所得の向上、安定した・安心の暮らしの実現をめざすものである。  
ご理解をお願いしたい。

委員：「重点戦略プロジェクト」なので、当然、今後の施策展開も予定しているのか。

事務局：「重点戦略プロジェクト」のうち、「農業自立振興プロジェクト」は平成17年度から取り組みを進めており既に具体的な方向を示している。  
また現在、「木質バイオマス活用プロジェクト」についても調査・検討を進めているほか、「観光振興・定住促進プロジェクト」は計画策定に向けた作業を行っている。

#### 4. その他

委員：今後の審議会の開催予定はどうか。

事務局：今後は、10月下旬に開催する各地域審議会に提案した後、11月に開催する長期総合計画審議会でも最終検討・承認をしていただき、市長へ答申する予定としている。  
その後は、12月議会へ提案・議決後、製本作業を行う。審議会は、あと1回の開催予定である。

会長：P60「2 社会教育の充実」は、「生涯学習の充実」と表現した方が一般的ではないのか。

事務局：市教育委員会が定めた「教育要覧」に基づき、基本政策(中項目)を整理している。  
当初は「生涯学習」での項目設定を考えていたが、一般的に「生涯学習」は、人々が生涯にわたって行うあらゆる学習活動のことであり、文化・スポーツ活動なども含まれるため、「社会教育」として設定している。

会長：本日は主に、「基本計画・第7次素案」について議論したが、委員の皆さんの意見や提案、今後開催される各地域審議会での議論等を踏まえ、次回審議会で検討したいが

よろしいか。また、次回の審議会を最後としたいがよろしいか。

意見・異議無し

5 . 閉 会